

今行くべき街～いわて杜と水の都～ **盛岡紀行**

◎着物 de もりおか街歩き体験

着物を着て、盛岡の街を散策できます。同日に運行している「ボンネットバス(*)」とのタイアップ企画です。

実施日：9月3日(日)、9日(土)、16日(土)、17日(日)、20日(水)、23日(土・祝)

実施時間：10:00～16:00(着付け時間含み最大6時間)

※16:00終了。15:30までにはお戻りください。

料金：3,000円(着物レンタル料、着付け料金含む)

※ヘアメイクはございません。

会場：盛岡町家三崙亭(盛岡市鉦屋町9-35)

予約申込先(メール)：kankou@iwate-arts.jp

※事前予約制。(3日前まで)

当日申込みは空きがある場合に限り可。

【メール送信時のお願い】以下、ご入力の上、上記アドレスへお送りください。

・件名：着物 de もりおか街歩き体験予約

・本文：予約日時、氏名、電話、メールアドレス、性別、身長、足のサイズ

問合せ：もりおか町家物語館 TEL 019-654-2911

(*) ボンネットバスの運行情報については、

みちのりトラベル東北へお問合せ・お申込ください。

<https://www.michinoritavel-tohoku.jp/>



★オプション企画★ 「お茶席体験」

実施日：9月9日(土)

実施時間：11:00～15:00(先着30名)

※お菓子がなくなり次第終了。

料金：盛岡のお菓子付1人500円

※着物(浴衣含む)着用の方は100円引き

場所：もりおか町家物語館

母屋2階和室



盛岡町家「大慈清水御休み処」のご紹介

鉦屋町界隈
情報

NPO法人盛岡まち並み塾が運営する町家施設です。盛岡町家の魅力を多くの方に知っていただきたく、明治期の町家を改修した歴史まちづくり拠点施設としてオープンしています。



- ★盛岡町家見学
- ★地域情報・観光情報のご案内
- ★歴史的街並み保存・改修等相談窓口
- ★町家喫茶(コーヒー、紅茶 330円)
- ★スペースレンタル(1区画/1時間 利用料750円～)

【お問い合わせ】

NPO法人盛岡まち並み塾事務局

所在地 〒020-0827 盛岡市鉦屋町3-15
「大慈清水御休み処」内
※大慈清水のすぐ近くです♪

TEL 019-656-1603

営業時間 10:00～16:00
(水曜日定休・年末年始休業)

HP↓



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 盛岡南大通ビル3階

TEL(019)656-8145 FAX(019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL <https://iwate-arts.jp>

本部HP



【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL(019)604-9020 FAX(019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL <https://kaze.iwate-arts.jp>

<窓口営業時間> 月～土 9:30～17:30

<施設利用可能時間> 9:30～21:30 ※日及び祝日・年末年始休み

風のスタジオHP



【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉦屋町10-8

TEL(019)654-2911 FAX(019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp URL <https://machiya.iwate-arts.jp>

<開館時間> 9:00～19:00(最終入場18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで

<大正蔵1階ショップ&カフェ営業時間> 10:00～17:00

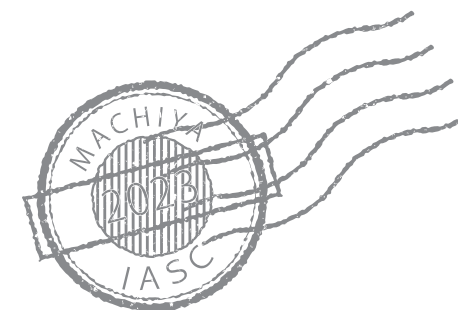
<休館日> 毎月第4火曜(祝日の場合はその翌日) 年末年始12/29～1/3

<入館料> 無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

大正蔵1階
「時空の商店街」
SHOP & CAFE
インスタグラム



もりおか町家物語館HP



9

もりおか町家・風の通信



9/24(日)～10/9(月・祝)

盛岡彫刻シンポジウム野外展を開催します

※写真は2022年のものです



もりおか町家物語館

★9月は26日(火)が休館日です★

【盛岡市所蔵美術品展】

「橋本花と金子千恵子」

盛岡市所蔵の美術品の中から、今回は今年没後40年の橋本花の作品と、画友である金子千恵子の作品を展示します。画家・橋本八百二の妻であった橋本花は、1983年(昭和58年)の8月22日に78歳で亡くなりました。2人の作品をぜひご覧下さい。

< 会期 > ~ 9/24 (日)
9:00 ~ 19:00 (最終入場 18:30)

< 会場 > 大正蔵1階 展示コーナー

盛岡を表現した2L~54号以内の絵画・版画・写真を募集します!

MACHIYART2023

エニナル
モリオカ

作品募集

作品受付日: 2023年12月16日(土)~22日(金)

詳細は当館HPをご確認ください。

◆町家のお化け屋敷 2023

町家事業 REPORT

7月28日から8月20日までの24日間、浜藤ホールで毎年恒例の『町家のお化け屋敷』を開催しました。今回は企画制作に美術家のナカムラユウコウ氏をお招きし、「あのお屋敷にはいってはいけない」と題して、不気味なお屋敷をテーマに開催。入場者数は4,500名を超え、県内外からの多くの方に楽しんでいただきました。たくさんのご来場誠にありがとうございました。来年もぜひ開催したいと思います。

「大正蔵1階 SHOP&CAFE」 <オススメ商品のご案内>

今月ご紹介するのは ~岩手の米・水・酵母にこだわった秋の酒~

特別純米酒 ひやおろし (数量限定販売)

残暑が続く夜は冷酒、月を見ながら常温、肌寒い夜にはぬる燗で春に搾ったお酒をひと夏、酒蔵で貯蔵し熟成させた秋の旬酒。やわらかな旨味と円熟のまろみ(まろやかさ)のある熟成酒です。



桜顔酒造 1,300円(税別)

この他、ショップでは盛岡の工芸品や地酒、銘菓など、賑わいに溢れた品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。

営業時間: 10:00 ~ 17:00

盛岡町家+アートイベント
MACHIYART2023



第49回 盛岡彫刻シンポジウム 野外展

2023.9.24(日)~10.9(月・祝) もりおか町家物語館 風の広場

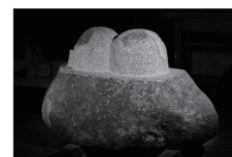
有馬 辰樹
「存在の跡」



佐々木 悦也
「地の声を聴く」



菅原 睦
「Isolation」



藤川 健
「生命の断片No.38」



藁谷 収
「古代へーⅢ」



主催 盛岡市、盛岡彫刻シンポジウム実行委員会、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

コミュニティスペース DOMA 展示情報

草月流 岩手県支部 幸草会 いけばな展「もりおか町家物語館にいける」

環境から生まれたように当館にいけます。

日 時: 9月2日(土) 13:00~17:00
3日(日) 9:00~17:00

会場: もりおか町家物語館 母屋1階 (※旧カフェ DOMA)

※こちらで作品を展示することができます。詳しくは当館までお問合せください。

リレーコラム No.81

盛岡で生まれた形たち

今年も記録的な暑さが毎日のように続きました。盛岡でも毎年の猛暑が定番となりつつあり、過酷な夏が早く過ぎ去ってくれることを待ち遠しく思う日々です。ただ、朝夕の空気が涼しくなって爽やかな風にほっとしつつも、やはり夏が終わるのは少し寂しく思ってしまう。勝手なものですね。

さて、話は少しそれますが、今年の大きな話題の一つに米紙ニューヨーク・タイムスの「2023年に行くべき52ヶ所」において、盛岡がロンドンに次ぐ二番目に取り上げられました。美しい景観や老舗の味など、盛岡に住む私たちも改めてこの街を再発見する機会となりました。当然国内外の注目度も上がり、コロナ禍が明けた現在ですすでに多くの方々が訪れています。これから秋の行楽シーズンになれば、美しい盛岡を堪能しようとますます賑わうのでしょうか。

そして、秋といえば私たち盛岡彫刻シンポジウムの野外彫刻展の季節でもあります。今年は9月24日(日)から10月9日(月・祝)までの開催となります。会場は「もりおか町家物語館 風の広場」。こちらの野外彫刻展は9回目となり、もはや町家物語館の定番イベントと言っても良いのではないのでしょうか。今回は5点の作品を展示します。主な素材は石。テーマや制作年は違いますが、どの作品も盛岡を中心に活動する作家が制作した作品です。盛岡で生まれた形と町家の景観とのコラボレーションを観に、ぜひ会場まで足をお運びください。

最後に、私たち盛岡彫刻シンポジウムは来年50周年を迎えます。「彫刻のある街と市民文化の推進を願う」をスローガンに1975年からスタートし、岩手大学構内をはじめ、姫神山の石切場や四十四田公園、盛岡城跡公園での公開制作や野外展、林間教室に音楽会等を開催してまいりました。これまで様々な事がありましたが、メンバーの熱意と地域の方々のご理解とご協力のおかげまで続けることができました。これからも彫刻を通じて街と芸術文化の在り方について考えながら発信していきたいと思っております。詳しいことは盛岡彫刻シンポジウムのFacebookをぜひご覧ください。

盛岡彫刻シンポジウム Facebook



盛岡彫刻シンポジウム実行委員会 アートディレクター
有馬 辰樹